



謹啓時下益々多岐

清清穆々殿在恭賀

小陳者申信鉄道敷設

計画ハ俄々多岐 閣

下ノ諸懇篤志者賛助

ヲ蒙リ漸次經營歩武

ヲ進メモ拘ラズ中道ニテ

經濟社界、不況ニ遭遇シ

遂ニ解散、中止ニ至リ

遂に敷設、中止に至り

いふ事、計者先驅

ナリテ、敷設法ノ制定

ヲ促ス、故リ、從テ今日中央

鉄道、敷設ヲ見ルニ及ヒタル

次第ニ至ル事、實上ニ

於テ甲信鉄道敷設ノ

精神ヲ告徹シタルモノニシテ

要スルニ、閣下、深厚ナル

識見配ニ基キツル

事、謹謝、而シテ甲信鉄

道株式會社、明治二十

六年六月ニ於テ解散シ

來下石等、殘務委員トシテ

東下在等殘務委任具上テ

叙散後、雜件處理
既

左方、此後、情十年、

及、總、處理、完結、
殘

餘、金、ラ、お、生、シ、ハ、能、キ、之、ラ

早稻田大學ノ基本金、

寄附、事、ハ、一、甲、信、缺、五

發起人一同が、
関心、有

懇、馬、古、以、賛、助、ニ、基、ス、ル

徴、去、ラ、お、表、シ、ハ、
関心、カ

國家公共、
為、メ、法、力、を、瘁

彼、方、左、方、七、反、音、美、西、春

ヲ、賛、ス、ル、一、端、ト、モ、
お、成、ル、儀

ト、お、存、在、月、十、一、日、ヲ、以、テ

下
存本月十一日ヲ以テ

金貳千五拾七圓四拾錢

早稻田大學ニ寄附仕

有書幸ニ微意ノ存否不

占諒納款上ノ後書有否

為志有敬具

明治三十五年十二月十二日

甲信鐵道殘務委員會

小平久平

小野金六

佐竹作太郎

伯爵大隈重信殿

閣下

伯爵大隈重信殿

執事 清中



甲信鐵道殘務委員

佐竹作太郎

小野金六

小平久平

明治三十五年十二月十日